



気づけば彼女は、
社長の腕の中で堕ちていた

気づけば彼女は、

有
堕ちて
いた

社長の腕の中で



翔太くん！

…正直、意識しないほうが
無理がある。

彼女は彩香。整った顔立ちに、
どこか気品を感じさせる女性だ。

けれど、その華奢なシルエットに
似つかわしくないほど豊かな胸。



昨日のレストラン、
すごく雰囲気よかったね！

よかった！また今度、
いいお店あったら行こうね！





あ、社長、
お疲れ様です！

お疲れ様です…

まあ、楽しむのも大事だが、
仕事も大事だぞ

気を付けます！

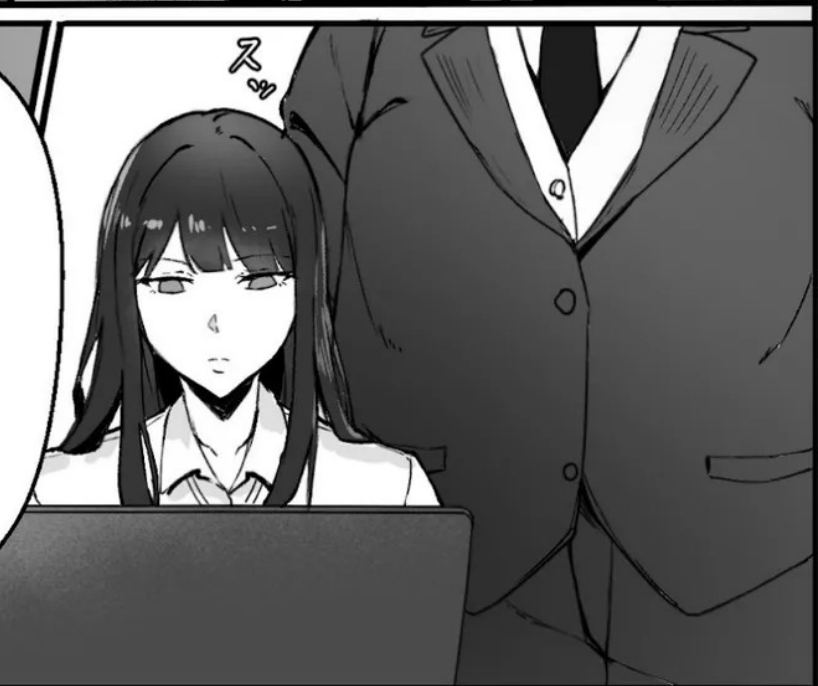
彩香、君はいつも真面目だな、
でも無理はしないようにな

いつも、嫌な視線を
感じる…

わかりました…



彩香、少しだけ話があるんだ。



嫌な予感がする…

わかりました…

ここでは都合が悪いから、社長室にきてくれ

あ、社長お疲れ様です。

社長室 President's Office

失礼します…

そこに座ってくれ

これを見てくれ



はい…

実は、翔太がしたミスが、
結構大きな問題になっているんだ



え、そんな…

だが、仲の良い取引先だから、
君が協力してくれたら、

俺が頼み込んでやってもいい



わ、私がですか？

君の力で取り繕わなきゃ
ならないんだから、俺が頼むには
代償が必要だ

代償って言うのは…？

ひゃっ、やめて
くださいっ…

ビュッ

君が俺の言うとおりにすれば、
問題は全て解決するんだ

簡単だろう？

それは…

君が何を言おうと、
翔太が首になることだって
あり得るんだぞ？



や、やめてください…

いや、ずっとこの身体
触ってみたいくてね

こんな身体で会社にいられたら
仕事に集中できないんだよ

ち、ちがいます…

むにゅ

ぐわ

ぐわ

むにゅ

なんだ
びしょびしょじゃないか、

くちゅ

くちゅ

まさかこんなに犯されて、
濡らすなんてな

はぁ

はぁ

ち、ちがいます…



ほんとか？なら、服脱いで
確かめさせてもらうぞ

手で隠すなよ

びちよびちよに
しめってるじゃないか

し、してないです…

こんなに濡らして、
それは無理があるだろうっ

？！！

こんな体、あんなへタレには
勿体ないな

翔太くんをばかに
しないで...

そんな顔で言われても
何の説得力もないぞw

ハ
チヤ...

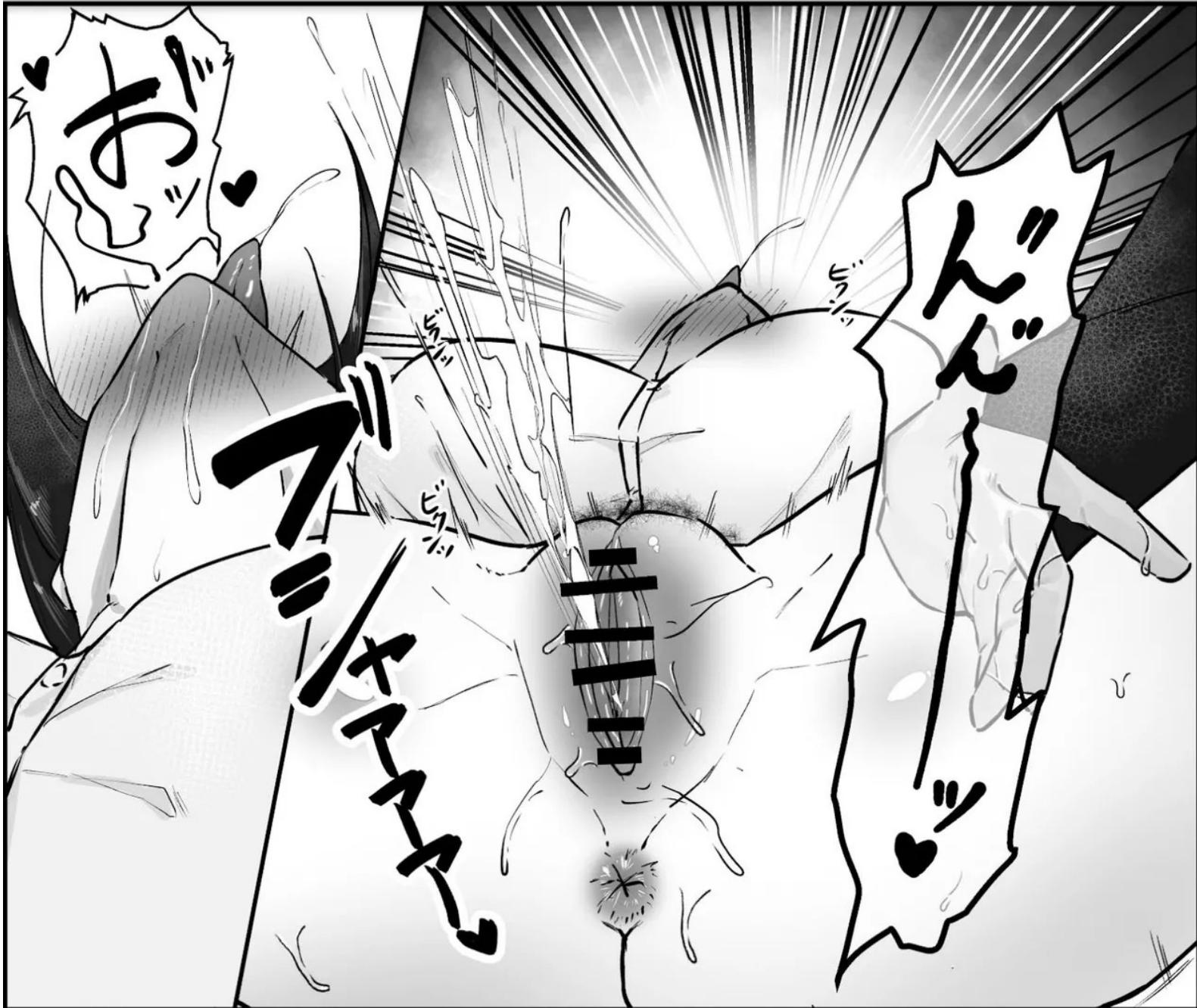
ハ
チヤ...

お仕置きしないとな

ズ
ッ

!!







ほら、上も脱げ



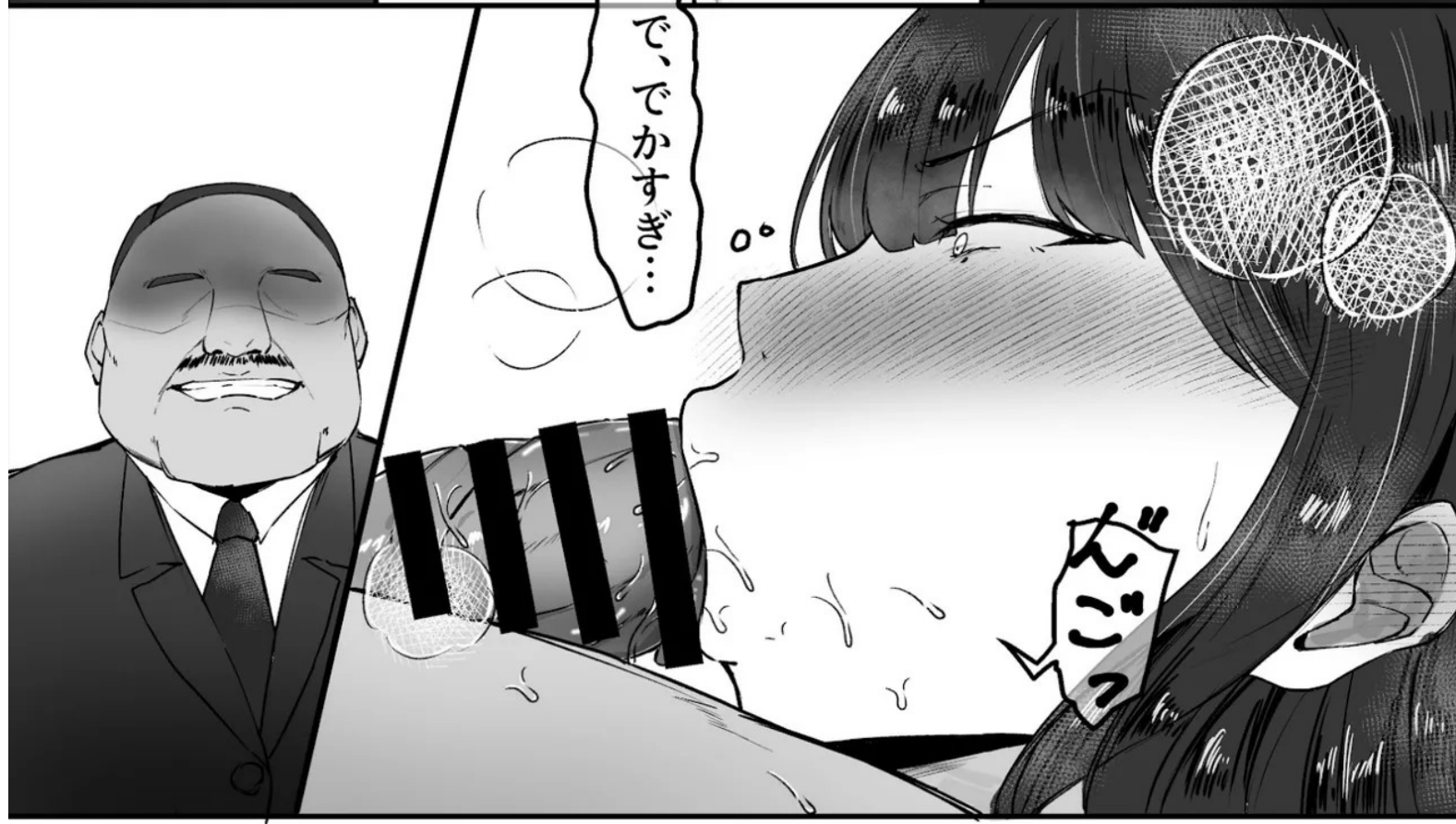
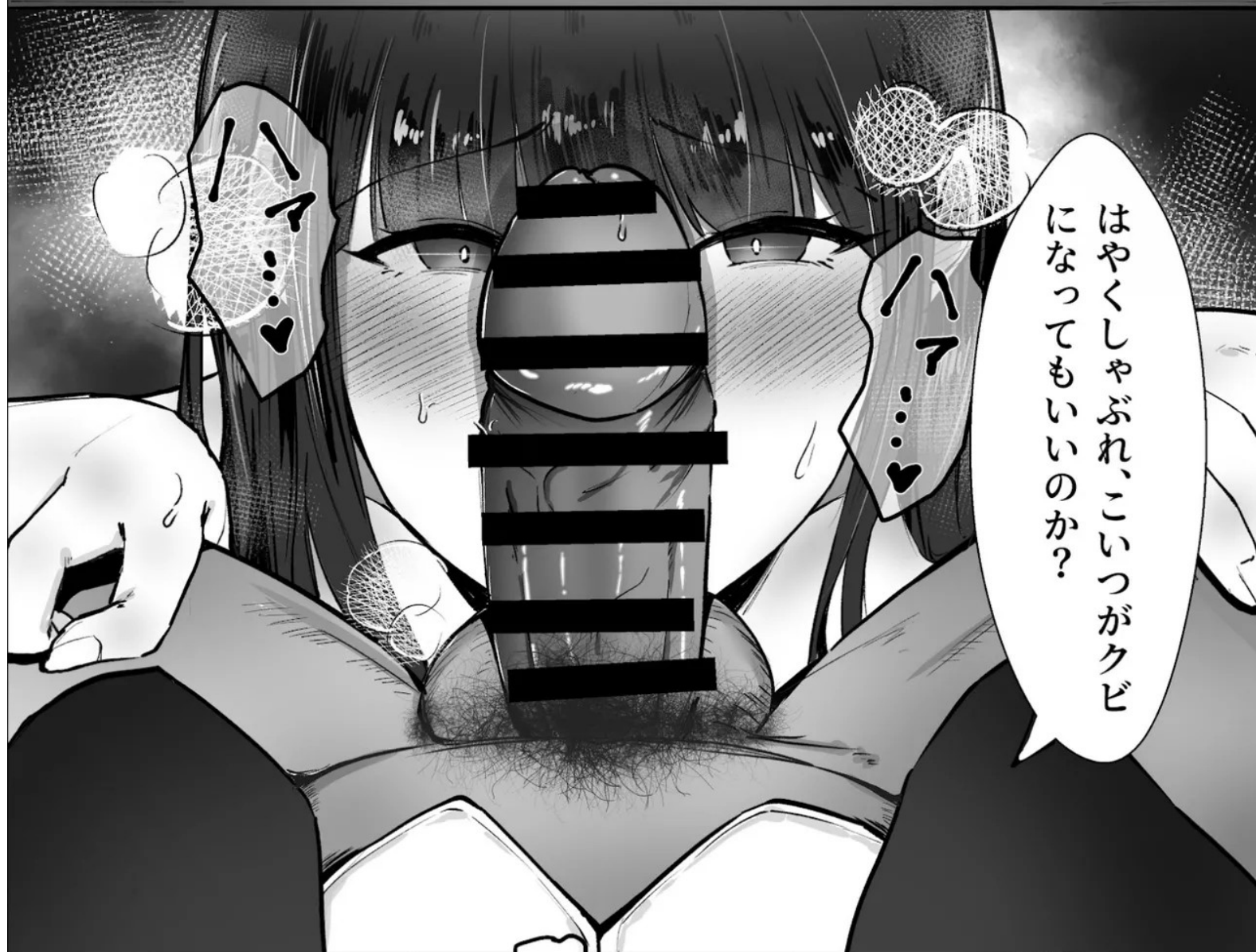
おお、なんてでかい胸だw

わ、笑わないでください...

ぶっ









ほらほら、しっかり動かせ、こいつを守るんだろ？

きゆうん

翔太くんのためだから…早く…イって…

大きすぎて、あぐはずれそう…

しゅぽ

しゅぽ

しゅぽ

79

79

しゅぽ

しゅぽ





失礼しました

そろそろ俺のを欲しがってくる
ころじゃないか？

はぁー

はぁ

はぁ

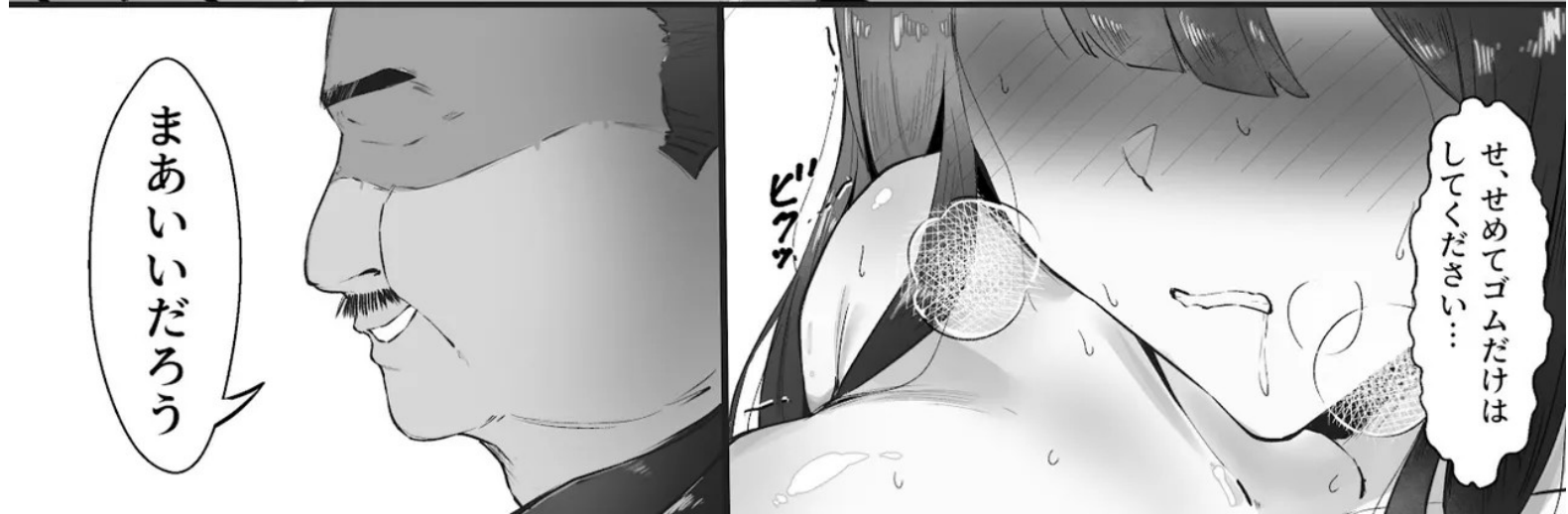
はぁー

はぁー

ふん

さっき出したばかりなのに、
まだこんなにおっきいの…

ビクッ



せ、せめてゴムだけは
してください…

ビクッ

まあいいだろう





そんな声出して、よほど相性がいいらしいなw



んう、まっ、まっ、
もっとゆっくりしてえ...

奥の方は狭いな、アイツのでは
ここまで届いてないのかw





ここが弱点なのか？

ち、ちがうっっっ...

そうか？さっきより、
感じてるように見えるが？

敏感なところを
ずっと刺激されるっっ...

はーん

はーん

ここを小刻みについたら
どうだ？気持ちいいか？

ky ky ky

ky ky ky

ky ky ky

ky ky ky

ky ky ky

ky ky ky

な...なにこれ...おかしく
な...な...な...



おん

おん

おん

おん

おん

おん

おん

おん

おん

おん

おん

気持ちよすぎて
喘ぐので精一杯かw







最近、元気なさそうだけど大丈夫？

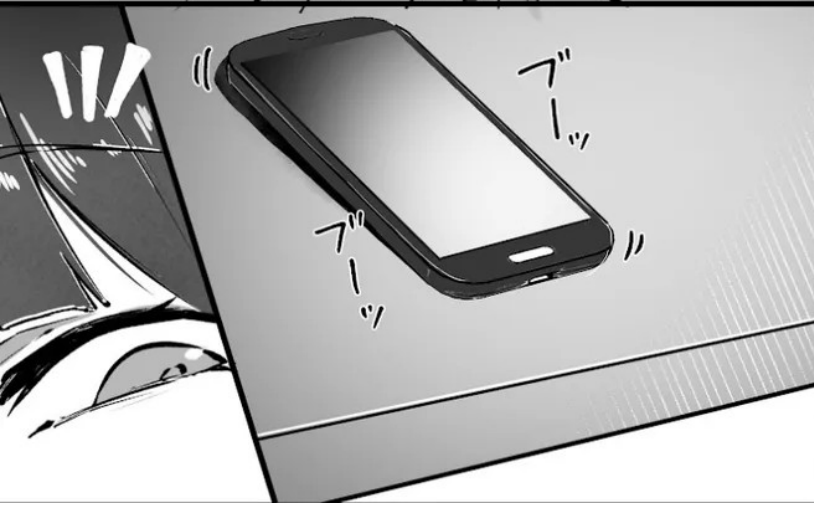


彩香さんっ

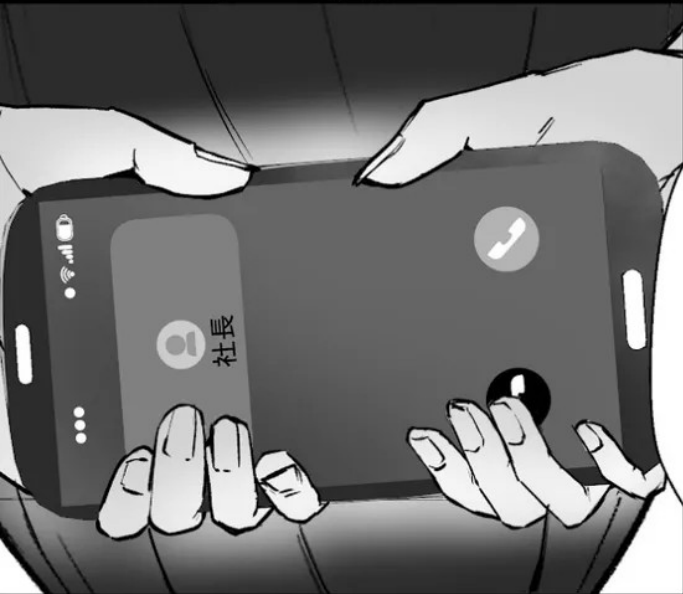


えっ…？そんなこと
ないよ？

そっか…



何か悩みとかある
のかな…





な、なにかよう
ですか？

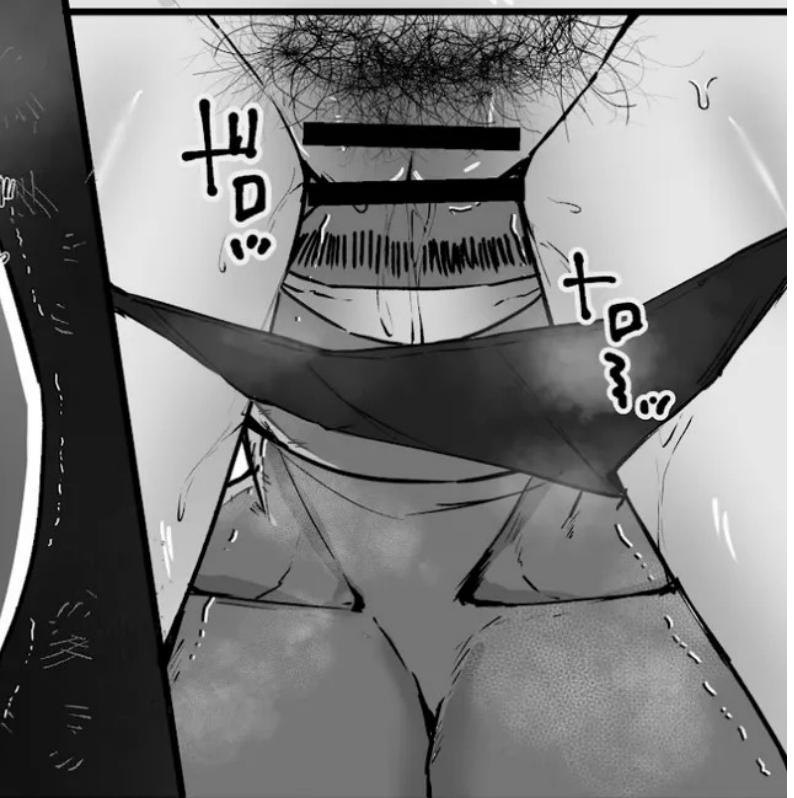
今から何をするかは、
言わなくてもわかるだろ



そんなこと言って、
こんなに濡らして



社長こんなところでなんて、
だれか来たらバレちゃいます…



おまの♡
♡おまの♡
♡おまの♡



ん…

少しは期待して
ここに来たんじゃないのか？







ニャアアア

ビクッ

ビクッ

ビクッ

ビクッ

ビクッ

ビクッ

ビクッ

ビクッ

まだ終わリじゃないぞ、
これからが楽しみだろ

おい、なんでお前だけ
満足そうな顔してるんだ？





やっと昼飯かー

マジ腹減った…
朝から何も食ってねえし



そういえば、彼女とは
どうなの？

…なんか最近、ずっと
悩んでるみたいなんだよ

声出すとバレるぞw

少しは頼って
相談してくれてもいいのに...

女の子の悩みって男にはわからねえも
んだよな。

バレちゃう...のに...
こんなのもう...

ズボッ
ズボッ
ズボッ

ズボッ
ズボッ



怖いかな？それとも、
興奮してるのか？

ドキュ

ドキュ

ドキュ

ぢゅ

ぢゅ

ぢゅ

もう戻れないっ…♡

おがッ

ハニ

イグ

おがッ

ハニ

ハニ

わかんない…っでも、







あとがき

ここまで読んでいただき、本当にありがとうございました！

今回の作品は、私にとって初めての「NTR」ジャンルへの挑戦でした。描いたことないテーマだったので、自分なりに色々考えながら取り組みました。

描いていく中で、キャラの心情やすれ違いを表現する面白さも感じられて、とても良い経験になったと思っています。

そしてリアルの話になりますが、4月から進学して、一人暮らしを始めました！

新しい環境にまだ慣れきれてない部分もありますが、学校と生活、そして、漫画制作をなんとか両立できるように、日々奮闘中です。

まだまだ未熟ではありますが、これからも自分なりに描きたいものを大切にしながら、成長していけたらと思っています。
引き続き応援していただけたら、とても嬉しいです！

最後まで読んでくださって、本当にありがとうございました！

X : akumarur7

PixivID:107040689